

事業所防災リーダー通信 **2023** Vol. 13

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



もしも閉じ込められてしまったら

地震等の災害が発生すると、家具が倒れて動かせなくなったり、瓦礫によってドアが塞がれたり、あるいは停電によってエレベーターが止まってしまうこともあるかもしれません。

もしも閉じ込められてしまったとき、あなたの、家族の、従業員の「いのち」を守るため、どう対応したらいいでしょうか。できることを確認しましょう。

室内に閉じ込められたら

可能であれば、揺れが収まったらまずドアや窓を開けて避難ルートを確認します。

部屋に閉じ込められたとき、身動きができなくなってしまったときに、大声を出し続けては体力を消耗します。

災害時の体力の消耗は、いのちに危険が及ぶ可能性もあります。

次のような行動をとり大きな音を出して、屋内に人がいるアクションを起こして知らせましょう。



硬い物でドアや壁を叩く



防災ホイッスルを鳴らす



懐中電灯を点滅させる

エレベーターの中に閉じ込められたら

エレベーターに乗っている際に揺れを感じたら、すべての階の行先ボタンを押し、はじめに止まった階で降ります。閉じ込められてしまった場合は、非常用ボタンを押して外部と連絡を取り、落ち着いて救助を待ちましょう。

すぐにはつながらない場合は、何度もくり返し試みましょう。

オペレーターとの連絡ができない場合でも、慌てずに携帯電話が活用できれば外部と連絡を取りましょう。

エレベーターのなかには、水や簡易トイレ等の非常用グッズが収納された非常用ボックスが備えられているものもあります。

冷静に確認しましょう。



東京消防庁からのお知らせ

東京消防庁では、毎月、季節やそのときどきで問題になる防災にまつわる事柄をテーマに情報発信をしています。

6月は「**ネットで自衛消防訓練**」をピックアップしています。是非ご覧ください！

東京消防庁HP

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/office_adv/jiei_shoubou/about.html

